

## WHOは全日本私立幼稚園連合会よりハイチの人々を助けるために 60万ドルの寛大な寄付をいただきました

WHOは全日本私立幼稚園連合会よりハイチの人々を助けるために 60 万ドルの寛大な寄付をいただきました。このお金はこの連合会の子どもたち、先生、家族から集められたものです。幼稚園に通う 2 歳から 5 歳程度の子ども達は、地震の被害を受け泣いているハイチの人々をテレビなどで見て、とても可愛そうと感じ、そうした気持ちから寄付を行ったと話しています。2010 年に発生したハイチの地震は、約 22 万人の命を奪い、30 万人以上の人々に大きな怪我を引き起こしましたが、今回いただいた寄付は、こうした甚大な被害を受けているハイチの人々に対するWHOの人道的な活動に活用されました。



全日本私立幼稚園連合会は 1984 年に設立され約 8,000 の日本の私立幼稚園により構成されています。この連合会の目的は全ての私立幼稚園が協力することにより、幼い子どもたちの教育をより良いものにすることにあります。

実は、今回の全日本私立幼稚園連合会からの WHO への寄付は最初のものではなく、2008 年にも行われており、その際には、中国における地震及びミャンマーにおけるサイクロンによって被害を受けた子どもたちの健康を守るために活用されました。（日本語訳）